

西国第十二番

しょうほう じ
岩間山 正法寺(通称・岩間寺) 真言宗醍醐派

御本尊／千手観世音菩薩 開基／泰澄大師

みなかみ

水上は

いづくなるらん

いわま であら

岩間寺

きしう なみ

岸打つ波は

まつかぜ おと

松風の音



✿ 主な年中行事 ✿

	毎月第三日曜日
1月	初観音法会・不動護摩供
2月3日	節分会
2月	ご縁日法要・不動護摩供
3月	開山泰澄大師忌・不動護摩供
4月	雷除け法会・不動護摩供
5月	ぼけ封じ祈願会・柴燈護摩供 ぼけ封じほうろく灸
6月	ご縁日法要・不動護摩供
7月	ご縁日法要・不動護摩供
8月	精霊供養・施餓鬼会
9月	千日会法要・不動護摩供
10月	ぼけ封じ祈願会・柴燈護摩供 火渡り火生三昧・ぼけ封じほうろく灸
11月	万體観音供養会・不動護摩供
12月	終い観音法会 ぼけ封じ健康長寿大根炊き
12月31日	除夜の鐘
※毎月	写経会開催



観音風光



「私のいのち」

父と母で2つの「いのち」、父と母の両親で4つの「いのち」、その両親で8つの「いのち」、たどっていくと10代で1024の「いのち」、それが20代になると百万の「いのち」。無量の「いのち」の積み重ね、今、私の番がきて生きている。いのちは無量の時間の積み重ねです。命とは、自分に与えられた時間です。この時間を一生懸命に生きることこそ、私の「いのち」です。

ご詠歌の意味

里を潤し、人心を豊かに育む千丈川の流れ。水上に尋ね行けば、岩間の観音様のお膝もとより湧き出ずる慈悲水に辿り着く。

観音様の大悲の心を携えた霊水が川となり、ささ波の音が松風の音と和して、観音様のお声として「優しい心」を語り合う大切さを人に伝える。

〒520-0869 滋賀県大津市石山内畑町82

TEL 077-534-2412

納経時間 午前9時～午後4時

西国三十三所礼所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。

西国巡礼慈悲の道

西国第十二番 岩間山

正法寺

そうもくこくどしつかいじょうぶつ
草木国土悉皆成仏

山主 仲田順和



めまぐるしい社会の中で生活している私たち、ともすれば生活の余裕を失い、干からびた心になりがちです。自然より遠ざかり、動植物に心をよせることを忘れ、いつの間にか人間としての生き方を見失ってしま

いような今日この頃、生きとし生けるもの、命あるすべてに心をよせ、いのちには眼に見える「いのち」、眼に見えない「いのち」があります人の心の美しさを

感じ、おおらかな明るい心を養うことにつとめたいものです。

ここにいる「草木国土、悉皆成仏」は、「二仏成道、観見法界、草木国土、悉皆成仏」の一頌^{じゆ}四句の偈文^{げもん}のあとの二句です。

ものへの心のよせかたを示して「一木一草、一匹の虫、一滴の水などすべて目に見える生命があるなしにかかわらず、皆仏さまとして敬うことのできる性質を

う。このとき忘れかけていたことを思い出すことができるはずです。

すべてのものは、それぞれの立場で自分の役目をはたし、ルールを守っています。そのバランスを、人^{じん}為^い的にくずさないようにしたいものです。

のの尊さを見失います。「消費が美德」であろうはずがありません。まだ使用できるものを捨てることには、「もったいない」という罪の意識があつてしかるべきです。

「もしこの紙がなかったら」「もしこの水がなかったら」ものに心をよせる第一歩です。そして、相手の側に立って紙になりきってみよう、水になりきってみよう、

